

# KN グローカルリサーチレポート

2021年4月  
No.60

桜が満開になりました。今年は例年より暖かく開花も早まりました。桜花を眺めながら「ほっ」と一息、心と脳をリフレッシュして新年度をスタートしましょう。

昨年の4月16日、全国に緊急事態宣言が発出され私たちの生活は一変しました。1年が経ちワクチン接種も始まっており、徐々に以前の生活様式に戻れそうです。ビジネスのやり方も変わりました。リモートでの会議や打ち合わせなど、日々進化するデジタル技術をどのように取り入れてお客様とのコミュニケーションをとっていかかがポイントになると思われます。

## 2021年度の浜松市の予算 総額で 6,434億円

2021年度の浜松市の当初予算は、一般会計 3,501億円、特別会計 2,210億、企業会計 723億円で、総額 6,434億円となっている。

特別会計では、国民健康保険事業と介護保険事業で特別会計予算の2/3を占める。

介護保険は介護報酬単価の改定や要介護認定者の増加などで29億円の増額。公債管理は償還費の増加などで26億円の増額。小型競争事業はメインスタンド棟の改修などで20億円の増額となっている。

表1 2021年度 浜松市当初予算 単位:億円

	2021年度	2020年度	増減
一般会計	3,501	3,495	6
特別会計(合計)	2,210	2,144	66
国民健康保険事業	717	727	▲10
介護保険事業	711	682	29
公債管理事業	505	479	26
小型自動車競争事業	153	133	20
後期高齢者医療事業	105	103	2
その他	19	20	▲1
企業会計(合計)	723	704	19
下水道事業	386	391	▲5
上水道事業	210	212	▲2
病院事業	127	101	26
総予算	6,434	6,343	91

企業会計は、下水道事業が企業会計予算の半分を占める。上水道事業は同じく約3割となっている。病院事業は医療センターの新病院の建設工事などで26億円の増額となっている。

## 一般会計 3,501億円

2021年度の浜松市の一般会計予算は3,501億円と6億円増加し2019年度と同規模で最大となった。

### 【歳入】

歳入の主なものは市税で1,347億円(全体の38.47%)、次いで国庫支出金623.8億円(同17.82%)、市債419.3億円(同11.98%)となっている。

表2 市税収入 単位:億円

	H29	H30	H31	R2	R3
市民税(個人)	473.5	624.7	649.1	656.1	586.9
市民税(法人)	101.8	108.9	128.1	96.6	57.1
市民税合計	575.3	733.6	777.2	752.7	644.0
固定資産税	533.6	526.5	544.4	548.8	508.8
都市計画税	73.9	72.5	73.6	75.2	72.8
事業所税	49.9	50.2	52.0	53.3	52.2
軽自動車税	20.0	21.3	22.6	23.6	24.4
市たばこ税	48.7	45.4	43.9	44.1	44.1
入湯税	1.3	1.2	1.1	1.2	0.5

## 【市民税は減少】

一般会計歳入の個人市民税は、納税義務者数の減少やコロナ禍などによる所得総額の減少などで 586.9 億円となり、法人市民税も企業収益の縮小などにより 57.1 億円と減少を見込んでいます。固定資産税は、評価替えに伴う既存家屋の減価や中小事業者等が所有する償却資産等に係わる軽減措置などにより 40.0 億円の減少、軽自動車税は登録台数の増加(R2 年度 332,700 台から R3 年度 333,000 台)により 0.8 億円の増加、入湯税は入湯客の減少(同 803,670 人から 392,670 人)により 0.7 億円の減少となっている。

自主財源比率は市民税の減収により 47.1%と 4.3 ポイント減少した。一方、依存財源は 1,853 億円でコロナ対策などの国庫支出金等が増えた事による。市債残高は 4,531 億円で、市民一人あたりに換算すると 57 万円となる。

■表3 主要指標の推移 単位:億円、%

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
一般会計歳入	2,952	3,264	3,286	3,501	3,495	3,501
市税	1,285	1,303	1,451	1,515	1,499	1,347
自主財源比率	53.6	48.8	53.4	53.8	51.4	47.1
市債残高	4,737	4,681	4,576	4,483	4,545	4,531

## 【歳出】

歳出で最も大きな経費は「民生費（高齢や障害など社会福祉に関する経費）」で 1,106.6 億円と全体の約 3 割を占める。次に「教育費(609.7 億円)」や「土木費(422.6 億円)」等となっている。歳出を性質別で見ると図 1 に示すとおりである。

■表4 一般会計の歳出の款別推移 単位:億円

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
議会費	9.6	9.5	9.4	9.4	9.5	9.5
総務費	363.5	343.6	349.9	359.7	409.7	364.3
民生費	979.1	992.2	989.5	1,043.5	1,062.2	1,106.6
衛生費	220.0	223.1	244.6	277.1	291.9	279.3
労働費	3.8	3.8	3.9	3.7	4.1	3.8
農林水費	50.4	55.5	52.1	54.3	82.6	75.7
商工費	89.2	84.2	79.3	150.5	64.8	82.2
土木費	460.0	456.7	453.3	463.6	436.9	422.6
消防費	109.7	118.8	128.6	133.7	122.2	111.0
教育費	260.2	568.4	566.7	597.6	610.6	609.7
災害復旧費	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0
公債費	384.9	386.6	387.0	386.5	379.2	405.4
予備費	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	2,952.0	3,264.0	3,286.0	3,501.0	3,495.0	3,501.0

■図1 一般会計の歳出の性質別割合



執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士  
 浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org